KOBELCO



クローラクレーンの市場を切り開いてきた

私たちは1950年代から、お客様とともに、クローラクレーンの市場を切り開いてきました。

1970年代高度経済成長期、新幹線や高速道路などの大規模工事に対応するため、いち早く超大型クレーンを開発。その系譜を継ぎ、実績を重ねてきた「SLシリーズ」。

1980年代バブル期、過酷な土木作業現場の要求に応えるため、強靭な土木専用機を開発。その系譜を継ぐ、基礎土木作業向け「BM-Gシリーズ」。

大容量ウインチや湿式ディスクブレーキ等の採用で、建方から基礎土木まで汎用クローラクレーンのスタンダードを定義してきた「Mastertech-Gシリーズ」。

鍛え抜かれた高剛性の箱型伸縮ブームを持ち、機動力に優れた「TK-Gシリーズ」。

築き上げてきた技術を継承し、お客様の思いに寄り添いながら、現場に最良のパフォーマンスを提供し続けていきます。

Mastertech G series　BM G series　TK G series　SL series

コベルコ建機株式会社

www.kobelco-kenki.co.jp

東 京 本 社／〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15　Tel:03-5789-2111

コベルコ建設機械ニュース　May.2021 Vol.252 春季号

〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 コベルコニュース編集室 ✆03-5789-2117

www.kobelco-kenki.co.jp

コベルコ建機株式会社

KOBELCO

春季号

May.2021 Vol.252

コベルコ建設機械ニュース

特集

SK135SR-7始動



特集

現場の声を搭載して
SK135SR-7
始動

この春、フルモデルチェンジで生まれ変わった後方超小旋回ショベルSK135SR-7。国内外のお客様の声を妥協なく反映させ、旧型機から使いやすさ、性能を大幅に向上。細部まで配慮の行き届いた1台となった。

こちらのQRコードから
SK135SR-7の詳細を
ご覧いただけます



バケット掘削力17%アップ

バケット掘削力は105.4kN。燃費性能はそのままに、パワーアップにより作業を効率的に進めることが可能に。

ワンタッチで変更可能な11種のアタッチメントモード

バケット、ブレーカ、ニブラー®など、あらかじめ設定された7種類の流量設定に加え、4種類を任意で設定することが可能。

10インチ大型カラーモニタ

業界最大の10インチモニタを搭載。車載カメラの映像はもとより、燃費表示、高さ・深さ確認など、必要な情報が読み取りやすくなり、作業ストレスも軽減される。

作業性の向上

油圧制御システムを大きく見直し、部品も更新したことで、作業性が大幅に向上。掘削サイクルタイムは8%、生産性は9%アップした。



後方・左右カメラ搭載

機械の後方と左右の約270°を鳥瞰的に確認できるイーグルアイビューを標準装備。これらのカメラで撮影された映像は10インチモニタに表示され、現場の安全性を高める。

iNDrによる超低騒音

コベルコ建機が独自開発したiNDrは本機にも受け継がれている。エンジンや冷却ファンの発する音を吸収し超低騒音を実現。オペレータの作業環境の向上だけでなく現場周辺の騒音も改善する。iNDrは防塵性能も兼ね備え、メンテナンスのしやすさも魅力だ。

尿素水の地上給水が可能に

メンテナンスをより容易にするための工夫も随所に盛り込まれている。機械にのぼることなく尿素水を給水できるよう、尿素水タンクを旧型機に比べて大幅に低い位置に設置。安全性にも寄与している。

快適なキャブ内環境

オペレータの快適性に配慮し、アームレスト付サスペンションシートを標準装備。蒸れやすい背面にも風が当たるようエアコン吹き出し口を工夫した。人間の自然な動きに即した操作を可能にするレバーやスイッチを採用し、広い視界を確保するなど、キャブ内の環境は抜群に快適となった。

平爪収納も可能な大型工具箱

平爪収納可能な大型の工具箱を機械右側面に設置。これも作業者の負担を軽減する工夫の1つだ。

織田信孝＝取材・文
text by Nobutaka Oda

操作性、デザイン、快適性、組立性、すべての面でレベルアップ

妥協なき開発で旧型機からフルモデルチェンジ！

フルモデルチェンジを果たして誕生した、コベルコ建機の13tクラスの後方超小旋回ショベルSK135SR-7。旧型機は非常に評価が高く、多くのお客様に愛用されてきたが、新型機はあらゆる点でその性能を上回り、かつ魅力的なデザインを目指して開発された。



今回の開発メンバー。密なコミュニケーションで、妥協のない新機種を生み出した



新型機ではメンテナンス性も重視し、機械に上がることなく、地上から行えるメンテナンス項目を増やした。NOx浄化用の尿素水タンクを旧型機に比べてより低い位置に設置したのもそのためである



1.人間の自然な動きに対応した操作しやすいレバー、スイッチ配置などにより、キャブに圧倒的な快適性をもたらした。2.乗り心地の良い座席シート。オプションでドイツのグラマー社製のエアサスペンションシートも用意



藤本健一

ショベル開発部
中型ショベル開発グループ

2002年より開発業務に携わり、これまで主に中型SRクラスの開発を担当。各開発グループや関係部署の取りまとめ、機種開発プロジェクトの旗振りを務める。SK135SR-7のコンセプトや開発方針を営業部門と検討し、全体のまとめ役として品質の確立、コスト管理、日程管理を手がけた



白神則文

技術開発本部
システム・コンポーネント
開発部
油圧コンポーネント
開発グループ

2001年入社。品質保証部（開発試験グループ）を経て、現部署へ。油圧ショベルの機器・システムの採用や試験、操作性改善などに携わる。「土生さんと課題を洗い出しながら、試験を何度も繰り返しました」



土生 優

ショベル開発部
ショベル開発試験グループ

2008年入社。2009年より試験場で、主に試作機の試乗評価、チューニング、油圧試験に携わる。「試乗評価では、動作速度を上げることによる、操作性の問題の壁が厚かったですね」

排ガス規制に合わせてフルモデルチェンジ

「2016年頃から、SK135SRのさらなる商品力向上を目指して検討を始めました。1つの目安となったのは、年々厳格化されている排ガス規制への対応です。これには部分的な変更では対応しきれません。そこで、次のEU第5次排ガス規制のタイミングに合わせ、フルモデルチェンジすることを決断しました」。このように振り返るのは、開発全体のまとめ役を果たした藤本健一だ。

開発にあたっては、国内外の多くのお客様からの意見や要望を集め、性能、デザイン、生産性など旧型機のすべてを見直し、レベルアップを目指した。その中で前面に打ち出したのは、高い性能と使いやすさ。コンセプトは「パフォーマンス×デザイン」だ。

今まで評価されていた機能をさらに向上させるにはどうすべきか。議論を進める過程でわかってきたのは、相反する2つの要素が多いことだった。「デザイン性と組立性の良いシンプルなレイアウト、掘削速度と操作性など、両立困難なことが多く、それらの調整に苦労しました」（藤本）

最新の研究成果も導入し操作性を向上

すべてのレベルの向上を目指した開発のなかでも、特に重視したのは操作性の向上だ。そのチューニングを担当した白神則文は、開発時の苦労をこう語る。

「当初、新型機では燃費性能を保つために、エンジン出力は上げられないと考えていたので、私にできることは限られていると思っていました。ところがある時期から、先行開発部（現・先端技術開発部）が広島大学と産学共同で開発した20t機の燃費性能とパワーを両立させる成果を、この機械に取り入れる方針が打ち出され、一挙に仕事が増えました。ただ、技術開発を行った研究室と、機械を量産する工場の組立ラインでは環境が異なります。設計に細かな調整を要する最新の成果を量産機に導入するには、ラインに乗せるための各種設定やコスト面の調整が必要で、その解決に苦労しました」

操作性向上の狙いは作業量拡大と快適な乗り心地の実現である。そこを目指して白神と、開発試験を担当する土生優は試行錯誤を続けた。

「例えば、作業量を増やすためにアームの稼働速度を上げると、それを停止する際の衝撃が大きくなってしまいます。動作速度を上げつつ、ショックの少ない快適性を実現するための最適な状態を見つけ出す必要がありました」（土生）

土生は試作機に試乗して感じた改善すべき点を白神に伝え、それを受けて白神は制御ソフトの書き直しや油圧系統の見直しを行う。二人はそうした作業を何度も繰り返し、理想的な操作性に近づけていった。このほか、ハードウェアではこれまでほぼ3世代変えていなかった、作動油の通り道を決める方向切替弁「スプール」を全面的に更新。こうして最終的には掘削サイクルタイムで8%、作業生産性で9%の向上を実現した。

キャブ内のレイアウトにも産学共同研究の成果が活かされた。「レバーの位置は旧型機から大きく変えました。レバー操作のストロークも短くし、より敏感に操作に反応するようにしました」と、白神は語る。その分、操作性のチューニングはより厳密に行わなければならなかった。

開発初期から仮想検証量産に向けて組立性も追求

一般に製品を開発するときは、コンセプトや要望を反映させ、まず試作機を製作する。そこでは仮想検証（バーチャルシミュレーション）も駆使される。SK135SR-7ではレイアウト、キャブからの視認性、スイッチの位置などを仮想検証で確かめた。

「オペレータが視線を動かさず、自然に必要な操作ができる配置の実現に注力しました」（藤本）

試作機が完成すると、性能や不具合を確認したり、新たなニーズを取り込んだりしつつ、量産可能な製品に仕上げていく。唐沢征考と山本英雄は、開発初期より量産という視点から組立性や生産性の評価に携わった。

「デザインが優れていても組立性に問題があれば工場ラインに乗せられません。量産におけるコストや品質も重要です。それらを検証して設計部門にフィードバックすることを繰り返しました」（山本）

量産体制に入っても、量産初期は最も不具合が出やすいため、すぐには安心できない。

「特にこの製品はデザインや快適性に注力したこともあって、製造の難易度は高いものでした。量産機では、試作機と部分的に製造方法が異なることもあります。ですから生産開始から1カ月を過ぎて、ようやく一安心できました」（唐沢）

SK135SR-7は、2021年5月から販売開始予定だ。

「操作性、デザイン、快適性、組立性、生産性……。あらゆる点で旧型機より優れた機械にしたいと努力を重ね、開発した結果、それを実現した〝欲張り〟な新型機にできたと自負しています」（藤本）

生まれ変わったSK135SR-7が旧型機の好評を引き継ぎ、さらに評価を高めることは間違いないだろう。

唐沢征考

ものづくり推進部
試作グループ

2008年入社。中小型ラインで組立を経験した後、試作組立に異動。今回は開発初期の仮想検証から試作組立評価、量産までを一貫して担当。早い段階から仮想検証を行い、不具合の指摘や作業性改善につなげた



山本英雄

技術開発本部
生産デジタル化
推進グループ

2008年入社。製造室、ものづくり推進部を経て、現部署に配属。開発と生産の間に立ち、生産ラインの適合性、課題抽出、レイアウトへの反映などを手がける。今回の開発では生産ラインの視点から機械レイアウトを検討し、生産性や品質を高める役割を担った



織田信孝＝取材・文　木下裕介＝撮影
text by Nobutaka Oda ／ photographs by Yusuke Kinoshita

SK135SR-7

用途別専用機も さらなる進化を遂げた！

建物解体や林業、金属、産廃といった環境リサイクル分野の各業界から高く評価されている コベルコ建機の環境機。その理由は、それぞれの作業環境に配慮した専用機の開発を 積極的に展開してきたことに尽きる。SK135SR-7の開発でも、用途別に作業効率を向上させる 多彩な機能を実現。開発時のマーケティングを担当した環境マーケティンググループの 橋本淳平と鈴木雄大に、各専用機の特色について話を聞いた。



橋本淳平
マーケティング事業本部　ショベル営業本部
営業促進部　環境マーケティンググループ



鈴木雄大
マーケティング事業本部　ショベル営業本部
営業促進部　環境マーケティンググループ

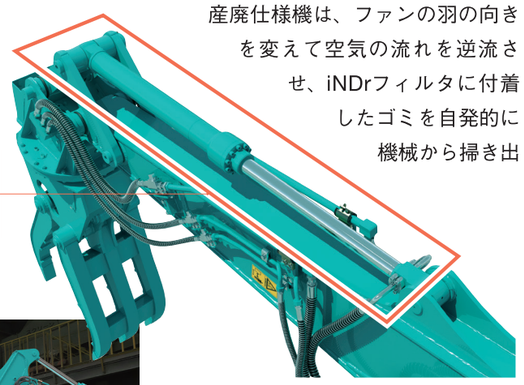
産廃リサイクル

さらなる防塵性能の向上を目指し「iNDr+J」を新搭載

建屋内で稼働することが多い産廃リサイクル処理現場のショベルにとっての大敵は、屋内に舞う大量の粉塵。それらが機体内部に入り込むと、オーバーヒートを引き起こす。

「コベルコ建機では、高密度メッシュフィルタで吸気中の粉塵の侵入をブロックするiNDrを開発し、多くの産廃事業者の方々から高く評価されてきましたが、新モデルでは防塵性能をさらに強化しています」（橋本）

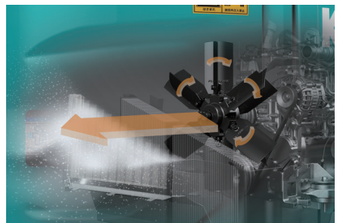
産廃仕様機は、ファンの羽の向きを変えて空気の流れを逆流させ、iNDrフィルタに付着したゴミを自発的に機械から掃き出す機能をプラスしたiNDr+Jを新たに搭載している。空気の逆流時に粉塵を吸い込んでしまわないよう、排気口にも高密度メッシュフィルタを装備。過酷な現場でのオーバーヒートをさらに抑え、メンテナンス頻度の軽減を可能にした。実際に、石膏ボードなどを取り扱うお客様は1日4～5回のフィルタの交換が必要だったが、それが1回に減ったという。また、対象物との接触による破損、油漏れが発生するという現場の声から、倒立シリンダを標準装備。機械の故障で作業が中断されるリスク対策にも努めている。これらの機能が追加されたことにより、メンテナンス頻度が減り、それにかかるコストを抑えられるようにもなった。



作業中の接触などによる配管損傷を防ぎ、油漏れのリスクを軽減する倒立シリンダ







過酷な条件下でも、逆回転ファンによりiNDrフィルタの清掃回数を減らすことができるiNDr+J

山田高広＝取材・文　神保達也＝撮影
text by Takahiro Yamada ／ photographs by Tatsuya Jinbo

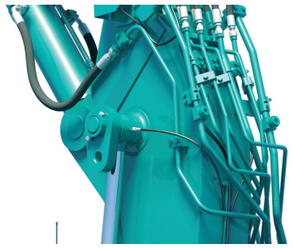
これからの環境分野はどうなる？

カーボンニュートラルの推進など、日本政府が国を挙げて脱炭素社会を目指すなか、リサイクル関連企業の果たす役割はますます大きくなっている。コベルコ建機は、今やビジネスの最重要ワードになっている「環境」に配慮した製品づくりをこれからも続けていく。



建物解体

階上解体の件数増を見据え ショートリーチ仕様機をラインナップ



本体とメインブームを丸吊りできる吊環付きブーム

近年、大都市圏では建物が密集する現場が多くなったことで、大型重機での解体作業が困難なケースも散見される。そこで、頻繁に行われるようになっているのが、階上解体という工法だ。

「この階上解体には13tクラスの重機がよく使用されます。SK135SRD-7のメインブーム兼用機では、ブームを短くして大型圧砕機を装着可能にしたショートリーチ仕様を新たに追加。これにより、階上解体作業はもとより地下の狭い作業環境でも、スムーズかつパワフルに解体作業が行えるようになりました」（橋本）

また、クレーンでのつり上げ用に吊環（つりかん）をメインブームに標準設定。さらに、足元のペダルで行っていた操作がレバーグリップ（ハンドコントロール）でも可能になり、オペレータの疲労軽減に貢献できる。

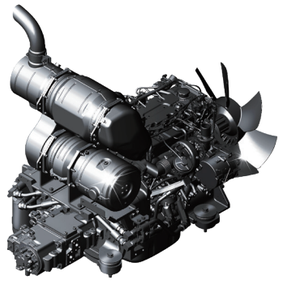
林業

よりパワフルな作業を可能にする 高出力エンジンを搭載

林業専用のSK135SR-7Fでは、ベースマシンのエンジンをよりパワフルに。

「前モデルから回転数とパワーを向上させた高出力エンジンを搭載し、より迅速かつ効率的な伐採作業を可能にしています。さらに、ブーム配管を太くして耐久性を高め、レイアウトを変更。配管の一部をブームの内側に収めて、枝への引っかかりなどによる破損のリスクを軽減しました」（鈴木）

同様に、ドーザ配管も枝の突き上げなどによる破損を防止するために内側へと収納。重機が止まることによる作業ロスの回避に向けた対策を徹底している。



林業専用チューニングでパワーとスピードを向上させた高出力エンジン

座席チルトやスライド機構など、体格に合わせて細かい調整が可能なエアサスペンションシート



金属リサイクル（マルチ解体機、自動車解体機）

長時間乗っても疲れにくい 快適なキャブ内環境を実現

金属リサイクル現場のオペレータは、長時間続けて作業するため、キャブ内環境を重視される方が多い。そこで、SK135SRD-7のマルチ解体機（精緻な解体や選別作業等に使用）および自動車解体機は、オペレータのストレスを軽減させるカスタマイズに取り組んだ。高級車を彷彿させるエアサスペンションシートの標準装備もその1つ。

「そのほかにも、Bluetoothでハンズフリー通話ができる機能や、スマートな操作を実現するジョグダイヤルなど、キャブ内の快適性が向上する装備を充実させています」（鈴木）

File.55

歴史的
建造物誕生の

明治の廃城令で往時の6分の1の
大きさとなってしまったが、本丸
御殿が現存する貴重な建築

川越城本丸御殿と蔵造りの城下町［埼玉県］

お江戸を支えた御殿の城

江戸情緒を感じさせる蔵造りの建物が数多く残る埼玉県川越市。
観光地としても人気の「小江戸」と呼ばれるレトロな町並みは、ここが城下町として栄えた証だ。
川越城には、全国でも2棟しか残っていない本丸御殿が現存する。
なぜ他の城からは御殿がなくなり、川越城には残されているのか。
小江戸の町並みの成り立ちとともに、真相を解き明かしていく。

砂山幹博＝取材・文　田中勝明＝撮影
text by Mikihiro Sunayama　photographs by Katsuaki Tanaka

現存御殿が珍しい理由

全国各所で町のシンボルとして独特の存在感を放っている日本の城だが、後に復元されたものも少なくない。江戸時代またはそれ以前に建てられた現存建築となるとその数はぐっと減る。城の顔ともいえる天守で今日まで残る建物はたったの12棟。政治を行う政庁と城主の住居の役割を兼ねた御殿、なかでも城の主要区域に建てられた本丸御殿に限れば現存するのは2棟のみだ。そのうちの1つが川越城の本丸御殿である。

配置された曲輪（堀や石垣、土塁で区切られた区画）の場所によって本丸御殿、二の丸御殿、三の丸御殿などと呼ばれ、川越城には本丸と二の丸にそれぞれ御殿があった。天守は初めからなく、三層の富士見櫓がその代わりとなった。お城＝天守のイメージが強いが、戦のなくなった藩政時代においては、見張台兼武器庫だった天守よりも客人を迎え入れる御殿のほうが重要だった。

川越藩では政務を二の丸御殿で行った。本丸御殿は江戸から鷹狩りに出掛けた際に立ち寄る将軍の宿泊所となるため、普段から使用は控えられていた。三代将軍徳川家光が訪れた後には利用がなかったため、本丸御殿は解体されたようだ。幕末に二の丸御殿が火事で焼失した後に長く更地だった本丸に御殿が建てられた。現存する1848年再建の本丸御殿である。

藩政の中心だった御殿が天守ほど馴染みのない理由は、明治の早い時点でほとんどが取り壊されてしまったからだろう。

藩が所有していた200弱の城はすべて兵部省（後に陸軍省）の財産となり、1873年の廃城令によってどの城を残してどれを壊すかが仕分けられた。軍が主導したため、軍事的に重要性が認められない城の大半は取り壊され、全面的な取り壊しを逃れた城でも兵営地や訓練場所の用地確保のために多くの建物や土塁、石垣が壊された。その後も天災や戦禍で多くが失われている。

廃城令により川越城も大部分が解体されたが、本丸御殿の一部は県の庁舎として使用されることになった。御殿の建物が再利用される決め手となったのは、築年数が20年と比較的浅かったためともいわれている。

大きな唐破風屋根を掲げた正面玄関をくぐり、正面にあるのが三十六畳の大広間だ。来訪者はこの大広間で待機した後、城主の元へ通され謁見した。県庁としての使用が終わると、建物はタバコ工場や武道場を経て、戦後に中学校の仮校舎として使われたが、現在は藩政期の姿に戻り、江戸当時の雰囲







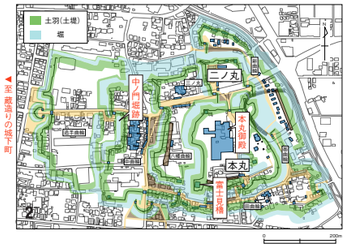
1.城内での会議に使用された三十六畳の大広間（写真提供：川越市立博物館） 2.大広間の引き戸に描かれた「杉戸絵」は本丸御殿に残る数少ない遺構の1つ（写真提供：川越市立博物館） 3.天守の代わりとなった富士見櫓の復元イメージ図。現存せず、土台のみが残っている（出典：川越城富士見櫓復元基本設計報告書）





1.江戸時代初期の江戸市街地や近郊の景観を描いた数少ない史料の1つ『江戸図屏風』には、初期の川越城本丸御殿が描かれている（写真提供：国立歴史民俗博物館） 2.川越城の堀跡として唯一残る中ノ門堀跡。深さ7m、幅18mの堀で、城の内側と外側で堀の勾配が異なっている





1.正面玄関を見上げると、銅板葺の唐破風屋根。金色の葵の御紋が目を引く 2.本丸と二の丸を合わせた規模だった中世河越城の周りに、複雑に湾曲した形状で曲輪を広げたのが特徴だ（資料提供：川越市立博物館）

※1867（慶応3）年頃の「川越城図」を元に作成された川越城の縄張図を編集部で一部改編





1.小江戸川越の蔵造りの町並み。黒漆喰の建物が建ち並ぶ姿は、関東大震災以前の江戸日本橋とよく似ているという 2.小江戸川越のシンボル「時の鐘」。高さ16m、木造三層の現在の鐘楼は1893（明治26）年の大火直後に再建されたもの。今も1日に4回、鐘の音色を響かせている





1.1913（大正2）年頃の新河岸川の船着場の様子。川越藩の経済を支えた新河岸川の舟運は、1931（昭和6）年まで現役だった（川越市立博物館図録より転載） 2.屋根の最上部には棟の腐食防止と装飾を兼ねた「箱棟」がのり、観音開きの窓は厚い耐火仕様。窓の下には「目塗台」が設けられるなど、川越の蔵造り建築の特徴がよく表れている

気を味わえるようになっている。

中世河越城から近世川越城へ

川越城の前身は、鎌倉（神奈川県）に本拠を構える扇谷上杉氏が1457年に執事の太田道真に命じて築城した河越城だ。武蔵野台地北東の先端部に築かれたこの城は、三方を低湿地に囲まれた天然の要害。南にあった中世江戸城（太田道真の子の太田道灌が築城）と連携して領国の武蔵国（東京都と埼玉県）を守る防衛線を形成し、周辺の諸勢力に備えた。

江戸時代には、一貫して江戸の北側を防衛する役割を担い、早くから近世城郭への整備が進められた。中世河越城があったとされる本丸と二の丸の外周に複数の曲輪を配し、富士見櫓をはじめ3つの櫓と13の門を備え、城は総面積約32万6,000㎡の規模に拡張された。防御機能は城外にもおよび、城下町の外縁には寺社が配置され戦時には曲輪の代わりになるよう設計された。

また、藩主は大名が世襲するのではなく、代々大老や老中など幕政を担う重臣が務めた。そのことからも幕府がいかに川越城を重視していたかがうかがえる。

開府直後には2万石だった石高も、幕末には最大17万石に。関東が誇る大藩、水戸藩に次ぐ規模である。川越がこれほどの発展を遂げたのは、かつては地方の一城下町に過ぎなかった江戸の大躍進のおかげである。

江戸情緒漂う「小江戸」の真実

開府以来の爆発的な人口増加に伴い江戸の町は拡大した。そのために必要な物資がどこからもたらされたかに着目すると、川越の重要性はより明らかになる。

関東平野のほぼ中央という立地から、川越付近には中世から複数の街道が通っていた。もともとが交通の要衝だった所に江戸幕府による街道整備が進み、江戸日本橋を起点とする中山道から途中分岐して川越に至る川越街道が新設。さらに付近を通る新河岸川の舟運も栄え、陸上と河川で江戸と川越を結ぶ物流の大動脈が完成した。建築資材や燃料といった都市インフラに欠かせない物資をはじめ、領内の農産物や特産品などが川越に集まり江戸へと送られた。文化文政期（1804～30年）に江戸で焼き芋が大流行したとき、周辺で栽培されたサツマイモの供給地としてブームを支えたのが川越だった。サツマイモスイーツが現在も川越を代表する名物であるのはその時の名残だ。

物流の一大拠点として江戸の発展を支えた川越の城下町は今日、県内有数の観光地となっている。土蔵造りの建物が軒を連ねる江戸情緒あふれる景観から「小江戸」の名があるが、建物群は意外にも明治になって建てられたものだ。

もともとの町並みは木造の建物だったが、1893（明治26）年の大火で全体の3分の1が焼失。この難を免れた数少ない建物が土蔵造りの建物だった。これを教訓に川越の商人たちは店舗を火事に強い蔵造りで再建。こうしてかつての城下町は、蔵が建ち並ぶ姿に生まれ変わった。

再建された蔵造り建築の特徴は、防火機能に加え装飾が目立つ点にある。例えば、屋根の最上部には壁のような「箱棟」が立ち、財力を誇示するかのような装飾が施された。防火のために観音開きの扉は分厚く、窓の下の屋根には「目塗台」が備え付けられている。この台は窓の密閉性を高めるために、扉を閉めた後の隙間に土や味噌を塗り込める作業を行うためのもの。非常用の施設ではあるが凝った意匠のものが多く、川越商人の繁栄ぶりを今にとどめている。

宅地化が進んだ現在、本丸御殿以外では空堀や櫓台の跡がわずかに残るのみ。江戸防衛の要だった頃の川越城の姿はすでにないが、落ち着きのなかに凛とした気品を感じる本丸御殿と、たくましい商人たちが残した町並みから、往時の繁栄ぶりに想いを馳せることはできる。

コベルコ建機公式Instagramでは、「歴史的建造物誕生の秘密を探る！」の再編集記事をはじめ、さまざまな情報をお届けしています。ぜひ、フォローしてご覧ください。

【公式】コベルコ建機
kobelcokenki_official



基礎土木工事における多様な作業ニーズに対応

狭小地や上空制限下で活躍する TK-Gシリーズ初のショートブーム仕様機



今回のストーリーは
TK550GSB

こちらのQRコードから TK550GSBの詳細を ご覧いただけます

長年に渡り、基礎土木の現場で高い評価を受けているテレスコピッククローラクレーン、TK-Gシリーズの新ラインナップ。狭小地や上空制限を有する現場での作業に最適なショートブームを装備し、都市部の再開発工事などでの活躍が期待される。

ブームの組立・分解が不要なテレスコピックブームを装備したコベルコ建機のクローラクレーン、TKシリーズ。抜群の輸送性能と狭所での機動力に優れたコンパクトボディ、そして過酷な現場での作業に耐え得る頑丈な構造と高いつり上げ能力で、基礎土木の現場から絶大な支持を受けている。この基本思想を継承した現行機、TK-Gシリーズは TK750G、TK750GFS、TK550Gの計3モデルだったが、今回新たなモデルが加わった。それが、ショートブーム仕様のTK550GSBだ。

TK550GSBの開発は、近年、活発に行われている都市部を中心とした再開発やインフラの更新が契機になっている。これらの現場は狭小地であることや、橋梁、高架下など上空制限がある場合が多く、そうした条件下でもより効率的に作業が可能な短いブームのクレーンに対するニーズが高まっていた。これに応えるため、55ｔクラスでのショートブーム仕様機の開発を目指すことになったという。

TKブランドの長所を保持しつつ新たな個性をプラス

以前より構想としてあったTK550GSBの開発を、現実のプロジェクトとして始動させたのが、クレーン商品企画部の鶴見俊樹だ。テレスコピッククローラクレーンの開発に技術者として携わっていた鶴見は、現部署に異動して開発モデルの検討を行っていた際に、ショートブーム仕様機の使い勝手の良さに着目。お客様訪問を通じて、その着想についてのヒアリングを行ったという。

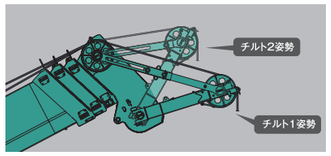
「ショートブーム仕様機に対するお客様の反応は上々で、こんな現場で活用できそうなど、前向きな意見をたくさんいただきました。それによって、構想が確信へと変わりました」（鶴見）

開発モデルのコンセプトを考える上で鶴見が最も重視したポイントは、TKブランドがお客様から評価されている「頑丈で強い」という長所をしっかり継承すること。そこに、狭小地や上空制限下でも使いやすいショートブームという、新たな個性を加えることを開発の狙いとした。

機体設計を担当したテレスコクレーン開発グループの梁柏輝によると、その作業はかなり繊細なものになったという。

「今回の開発は、ブームを載せ換えればそれで終わりと思われがちですが、そう簡単ではありません。新たなブームは長さも重さも異なるうえ、ワイヤ径も太くしたことで、機体自体の安定度、強度を保つために、ワイヤロープ経路上の関係部品の構造変更を行う必要がありました」（梁）

例えば、カウンタウエイト部分の形状を変えたこともその1つ。機体の後端半径をキープしつつ、サイズアップしたガントリに干渉しないよう、カウンタウエイト形状への工夫が施された。生産性や組立性を考慮して、カウンタウエイト設計を幾度も見直し、強度が要るガントリとサイズアップさせないカウンタウエイトを両立させたことで、TKブランドの特色である優れた耐久性、コンパクト性が、TK550GSBにも受け継がれた。



チルト2枚補助シーブ（特許出願中）を装備し、通常用と低空頭用の2つのポジションを使い分けることが可能。低空頭用ポジションでは、揚程を約1m多く確保できるため、上空制限がある現場でもハンマーグラブによる掘削作業がよりスムーズに行える。

強度設計を一から見直し 多様な基礎工事の作業が可能に

開発のキーとなるショートブームの設計を担当したのが、クレーンアタッチ開発グループの小坂恭平だ。

「従来のTKシリーズのテレスコピックブーム機構はお客様からの評判が良く、その完成度の高さもあって、初めて商品化された当時の設計から大きな変更を行ってきていませんでした。ショベルのブームは開発経験がありますがクレーンのブームは初めてですので、昔の設計資料を集めるだけでも一苦労でした。強度設計に関するデータと図面を一から照らし合わせたり、コベルコ建機が持つ伸縮ブームの設計技術を整理し、設計を行っていきました」（小坂）

ブームを短くすることで力の受け方が従来機と変わってくるため、ショートブームの強度はすべて計算し直している。その結果、どこをどの程度補強すべきなのかを検討し、ブームの縦と横に格子状の補強材を設置した。

「TK550GSBの開発では、ブームを短くしてもTK550Gと同等レベルの能力値を出すことが目標でした。そのため、長いブーム全体で負荷を受け止める従来機とは異なる、ショートブームならではの強化が必要になりました」（小坂）

強度設計の見直しにより、TK550GSBはTK550Gでは推奨していなかったハンマーグラブでの作業も可能になった。さらに、通常用と低空頭用の2つのポジションを使い分けることが可能なチルト2枚補助シーブを開発。これにより、低空頭用ポジションでは上空制限下でもハンマーグラブの揚程を約1m多く確保できる。

「油圧オーガについても、TK750Gと同サイズのブームヘッドを装着し、強度アップをしたことで、TK550Gの推奨仕様よりも1クラス上のサイズのオーガアタッチメントが使用できます」（小坂）

開発プロジェクトを通じてスタッフの経験も継承する

TK550GSBは、従来のTK550Gと基本構造は変わらないものの、ブーム部の補強材やブームヘッドのサイズアップなど、細かな部分での変更が数多く行われている。そのため、工場における量産体制の構築も丁寧に進められた。組立ラインを指揮した汎用第二製造室の松江聡賢は、試作の際に通常よりも多くの時間を割いて、組み立てや図面上の不備がないかなどを開発メンバーとのやりとりを通じて慎重に確認したという。

「ラインで働く作業スタッフの若返りを図っている最中という事情もあり、彼らが今までやったことのない作業もありました。そのため、自分の経験を伝えるなど、技術継承という点も意識して仕事に当たりました」（松江）

先人たちが創り上げた「TKブランド」を継承し、進化させることを目指した今回のプロジェクトでは、技術面だけでなくベテランスタッフが持つ経験という財産もしっかりと受け継がれた。今後は、テレスコピッククローラクレーンの次なる開発も予定されており、TK-Gシリーズが基礎土木の作業にさらなる革新をもたらす日もそう遠くはないだろう。



TK-Gシリーズの可能性を広げるべく、ショートブーム仕様機を生み出した開発メンバーたち。次なるプロジェクトでは、どんなプロダクトで新しい価値を創造してくれるのか、期待がかかる。

鶴見俊樹
マーケティング事業本部
クレーン営業本部
クレーン商品企画部　マネージャー
2007年入社。「クレーンの開発部門から、お客様や市場からの情報を収集して新しい機械を企画する本部署に移籍しました。自分の提案した機械をお客様が今後どのように活用してくださるのか、今から楽しみにしています」



梁 柏輝（りょう はくき）
技術開発本部　クレーン開発部
テレスコクレーン開発グループ
2018年入社。「クレーン本体部分の構造設計を中心に担当しながら、設計全体を管理する立場で開発に参加しました。先輩たちの知見を吸収しながら、部門を超える交渉技術も鍛えられたと思います」





小坂恭平
技術開発本部　クレーン開発部
クレーンアタッチ開発グループ
2009年入社。「広島事業所でショベルのブーム設計担当などを経て、今回TK550GSBで初めてクレーンの伸縮ブーム設計を担当しました。広島での経験を活かして、クレーンの設計ノウハウをまとめ上げ、技術の粋を上手くTK550GSBに継承できたと思います」



松江聡賢
生産本部　大久保事業所
汎用第二製造室 係長
1998年入社。「工場での試作段階で設計などの問題がないかに注意を払い、開発部門へとフィードバックするのが仕事でした。今回の開発では、若いスタッフに対し、組立工程における自らの経験を伝えることにも力を注ぎました」

山田高広＝取材・文　鈴木康浩＝撮影
text by Takahiro Yamada / photographs by Yasuhiro Suzuki

ご好評につき第2弾！

※価格はすべて税込表記です。予告なく変更となる可能性があります。

お家で楽しむニッポンの味覚

―― 東北＆九州編

昨年、お家時間で少しでも旅行気分を味わってもらいたいと特集した「お家で楽しむニッポンの味覚」。多くのご好評の声を受け、第2弾が決定！
今回は、東北&九州エリアのコベルコ建機グループ社員がオススメするお取り寄せグルメを、一挙にご紹介します。個性豊かでおいしい東北&九州のグルメを食卓に並べて、プチグルメ旅を楽しみませんか。

東北編

● 前沢牛オガタ（岩手県）

小形牧場牛霜降り焼肉（300g） 7,797円

奥羽山脈から湧くミネラル豊富な水と、その水で育った稲わらを餌として育成される小形牧場牛。一般的な和牛と比べて脂の融点が低く、さっぱりとした味わいで、旨みがぎゅっと凝縮されています。



● 柿木畜産（岩手県）

短角牛 サーロインステーキ（200g） 3,200円

山形村短角牛の特徴は、春から秋に放牧されること。冬に牛舎で育てる際の飼料は100%国産。国内でも珍しい、限りなく純粋な国産牛です。サーロインは脂身と赤身のバランスが良く、肉の柔らかさと味の濃さを堪能できます。



● 三陸おのや（岩手県）

旬のごちそう6種セット（煮魚・焼魚） 5,200円

北上山系の伏流水を使い、熟練の板前のレシピで調理した煮魚と焼魚。豊かな三陸の漁場で育ったさばなど、6種の味が楽しめます。

三陸の美味と旬を手軽に楽しめ、ちょっと贅沢な食卓に。わが家の冷凍庫の常備品です。
盛岡営業所（男性）



● 三陸やまだ漁協（岩手県）

佐々木友彦さんの殻付きカキ2年物（加熱用/20～24個） 3,800円

実は四季を通じて味わえるマガキ。春は雪解け水と水温の上昇でプランクトンなどの餌が豊富になり甘みが増し、夏には濃厚な卵の味が楽しめます。季節により温度などの環境が変わるなかで丁寧な育成をする三陸のマガキをご自宅で！



● ベアレン醸造所（岩手県）

缶ビール4種5本・グラスカンセット 2,370円

ドイツスタイルの地ビール醸造所で造られた、ヨーロッパの伝統的ビール4種5本を味わえるセット。チェコ産ホップを使用して苦みを効かせた「トラッド ゴールド ピルスナー」などの商品が味わえます。



● 巌手屋（岩手県）

バリバリ元気（7枚入） 230円

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、開発された南部せんべい「バリバリ元気」。落花生や金ゴマ、乳酸菌、食物繊維などが含まれた栄養機能食品です。商品には、「おいしい元気を岩手から全国に届けたい」という想いも。



● 三津屋（山形県）

生そばセット（4人前） 3,780円

山形県産の「でわかおり」を使用した二八のそばで、細くつるつるとしたのど越しが特徴の三津屋のそば。つゆも創業以来の味を受け継いでいます。山形のそば処の打ちたてそばを、自宅でゆっくり味わうことができるセットです。

社内人気も高く、山形の優しさが伝わるそば。冷やしでたくさん薬味をかけるのがオススメ！
東北支社（男性）



● 松野屋（山形県）

ひがしね美人（化粧箱10個入） 2,477円

着色料・保存料無添加にこだわり、自社で生産する「ひがしね梅」。一般的なものと比べて約2倍の大きさにもなるひがしね梅を、シロップとハチミツに丁寧に漬け込んだ逸品。完熟した梅の甘みと芳醇な味わいが魅力です。



● 鮮冷（宮城県）

女川アヒージョ 三陸ほや（90g） 980円

女川産のとれたてのほやに、トマトや唐辛子を加え、ふっくらと柔らかく仕上げたアヒージョです。保存料や化学調味料は不使用。高鮮度のほやを加工しているので、独特の臭みがなく、ほやが苦手な方でもおいしくいただけます。



九州編

● 資さんうどん（福岡県）

肉うどん（3人前） 1,680円

「資さんうどん」は、北九州発祥の人気うどんチェーン。その人気メニューの1つ、肉うどんがお取り寄せグルメに。甘辛く煮込んだ牛肉と、さばや昆布、しいたけなどの素材を絞った出汁の相性は抜群。もちもちの麺と絡めてご賞味を。



● 萬坊（佐賀県）

いかしゅうまい大まる（8個入） 1,296円

全国的にも名の知れた呼子のイカを使い、ほぼ手づくりでつくられる萬坊のいかしゅうまい。イカは、甘みを活かすために上身のみを使用し、その他の素材も地元のものを厳選。注文を受けてからその日のうちにつくり、お届けされます。



● 豚そば月や（福岡県）

クリア豚骨ラーメン（3食入） 1,512円

豚骨ラーメンですが、スープは透明という不思議なラーメン。それは、豚の血抜きを徹底し、決して沸騰させないようにじっくり煮出しているから。その味は臭みがなく、旨みだけが感じられます。

透明なスープで、味はしっかり豚骨味。途中で、付属のかぼす果汁を入れて、味変も楽しめます。
福岡営業所（男性）



● 岩崎本舗（長崎県）

長崎角煮まんじゅう（5個入） 2,250円

長崎発祥の卓袱（しっぽく）料理の一品、トンポウロウを手軽に味わってもらいたいとの想いから生まれた角煮まんじゅう。アンデス高原のメス豚肉を、秘伝のたれで煮込んだ角煮は絶品。自家製ラードを使用した、ふわっとした生地も魅力です。



● 明石屋（鹿児島県）

かるかん・かるかん饅頭（5枚・5個入） 1,998円

自然薯と米粉、砂糖のみでつくられる鹿児島銘菓「かるかん」。そのかるかんで、小豆餡を包んだ「かるかん饅頭」とのセットです。

もちもち＆しっとりした食感と、素朴な甘さは、子どもから大人まで笑顔になります。
福岡営業所（男性）



● かば田（福岡県）

いわしの明太子漬（4尾入） 1,512円

かば田こだわりの昆布漬け辛子明太子を、脂がのった国産のいわしのお腹に1尾ずつ手作業で詰めた逸品。隠し味に生姜を効かせ、特製の仕込みつゆに漬け込むことで、いわしのクセを消し、より深い味わいに仕上げています。



● 伊都きんぐ（福岡県）

どらきんぐエース（4個～） 1,856円～

もっちりとした皮に、福岡県産のいちご「あまおう」の果肉とムース、生クリーム、あんこを組み合わせた新感覚のどら焼き。一つひとつ手焼きにこだわって、丁寧につくるもちもちの皮の食感が特長です。



● 太田缶詰工場（大分県）

さざえの缶詰（240g） 4,860円

1890年から続くこだわりの商品。豊後水道一帯でとれる極上のさざえを、秘伝のつけ汁に漬け込み、旨みを凝縮させています。つけ汁をご飯と一緒に炊けば、さざえ風味の炊き込みご飯も簡単に完成。ぜひお試しください。



● 嵐坊（宮崎県）

もも焼き常温タイプ（220g） 1,100円

国産鶏を中心とした鶏肉を、最高級備長炭で焼くことで、旨みが凝縮された香ばしい焼き上がりに。加えて、忘れてはならないのが嵐坊オリジナルスパイス。岩塩と数種類の香辛料をブレンドしたスパイスと鶏との相性は抜群です。



［コベルコの風］

日本全国、そして世界各国での
コベルコの活動をリポート！

Wind 1 from
コベルコ建機
KOBELCO

大垣工場「FACTORY TOUR」がWebで公開されました

コベルコ建機のものづくりをWebで体感できるバーチャル工場見学「FACTORY TOUR」の大垣工場編が公開されました。国内外で唯一のミニショベル製造拠点となる大垣工場の見学ツアーは、リニューアルされたエントランスからスタートし、案内人の解説とともに製缶や塗装、組立などの各工程を進んでいきます。途中、工場内で行っているさまざまな取り組みを動画で紹介するポイントもあり、製品が完成するまでの流れを詳しく知ることができます。

これまでに、中・大型油圧ショベルを生産する五日市工場と、中国国内の生産2拠点のバーチャル工場見学も公開されています。各拠点のバーチャル工場見学に参加して、普段はなかなか見られない生産現場の雰囲気や取り組みを、体感してみてください。





右記のQRコードから
ご覧いただけます

Wind 2 from
コベルコ建機
KOBELCO

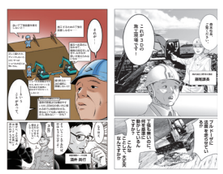
『漫画で知る ホルナビ』Webで公開中！

実際のお客様事例をもとに描いた漫画『漫画で知る ホルナビ STORY 01』をWebで公開しています。ICT建機に興味はあるけど、何をどうしたらいいのかわからない……。そんな多くのお客様が抱える悩みを漫画でわかりやすく解説。ICT建機導入までの苦労や課題、それを乗り越えた成功体験をストーリーにして紹介しています。

皆様の職場や現場でも同じようなケースがあるかもしれませんので、ぜひご覧ください！



右記のQRコードから
ご覧いただけます



Wind 3 from
コベルコ建機
KOBELCO

使いやすいサイズのオリジナルエコバッグが登場！

ちょっとしたお買い物などに便利なコベルコ建機オリジナルエコバッグが登場します！　シックなグレーの生地に、ショベル、クレーンのイラストが各面に描かれた飽きのこないデザインになっています。

サイズは約36×29cm（持ち手部分除く）。サイドにマチがあり、見た目以上の容量なので普段のお買い物にも十分。荷物が多い日のサブバッグとしても使えます。また、収納用のゴムバンドが付いているため、くるくるっと手のひらサイズに折りたためて携帯性も抜群。ぜひ、バッグの中に入れて皆様のお出かけのお供に加えてください。



Wind 4 from
コベルコ建機
KOBELCO

社会体験アプリ『ごっこランド®』にコベルコ建機が出店します！

400万世帯の子育て世代が利用する社会体験アプリ『ごっこランド®』に、コベルコ建機から「たのしい まちづくり」のゲームが仲間入りします。現在このアプリ内には、各業種を代表する40社超が出店しており、建設機械メーカとしてはコベルコ建機が初の出店となります。

「たのしい まちづくり」では、コベルコ建機のショベルやクレーンを運転するオペレータになりきってユニフォームを着たり、作業に適した重機を組み立てたり、動かしたりして、自分好みの街をつくっていきます。機械を操作して解体から整地、建築工事までを行い、ゲーム内で実際の現場を疑似体験しながら作業工程を学ぶことができます。

次世代の担い手である子どもたちに、このアプリを使った街づくり体験を通じて、建設機械を身近に感じてもらい、実際に現場で稼働するコベルコ建機のショベルやクレーンに興味を持っていただければうれしいです！





Wind 5 from
コベルコ建機
KOBELCO

積込み荷重計量の新機能「K-LOAD」をリリースします

積込み作業の積載量をお知らせする積込み荷重計量機能「K-LOAD」を、新たにリリースします。作業中にバケットに積込まれている荷重値や、ダンプに積込まれた積算値のほか、ダンプへの積込目標の数値、積込回数をモニタに表示。持ち上げ旋回をしながらの計量も可能なため、作業効率を落とすことなく積込み後の過剰・過少積載を抑えられます。積込目標に対して、アラームやモニタ内のポップアップ画面で警告し、過剰・過少積載を未然に防ぐ便利な機能も付いています。また、「K-LOAD」は単独のオプション設定となっており、ICT建機と併用する必要がないため、気軽にご利用いただけます。

バケット交換時におけるキャリブレーション手順のナビゲーションや、積込実績を記録し、その場で確認ができる機能も搭載しています。それにより、作業時や運用面において効率アップを図り、現場の生産性向上に貢献します。







読者の広場

Fun! Fan! コベルコニュース

コベルコニュースへのご意見や、
身のまわりで起こったあんなこと、こんなこと。
さらに自慢のイラストやすてきなお写真など、
読者の皆様からのご投稿をご紹介します!

学生時代の旅を思い出しました

青函トンネルの記事、面白かったです。学生時代に東京から青春18きっぷで、北海道へ。その時が青函トンネルの最初で最後の思い出です。また、行きたくなりました。コロナが収束したら、行きたいところだらけです。コベルコニュースの皆様もお身体ご自愛くださいね！

高知県　匿名希望



兵庫県　吉村 惟さん

青函トンネルの歴史に感銘を受けました！

青函トンネルの記事、大変面白かったです！　経験や努力でこんな立派なトンネルが生まれたと、歴史を感じました。今後の記事にも期待しています。

長崎県　匿名希望



山口県・光東（株）
池永 愛さん

お気に入りのコベルコ建機

KOBELCOカラーが好きで、長年大切に使わせてもらっています。故障もなく、2年前に新たに1台導入しました！

今後も会社の主役として活躍してくれると思います。

岐阜県・（株）コダマ建設
児玉 章さん



京都府　匿名希望

これからもモータースポーツを応援したい！

コベルコサードスープラはS-GTで500のチャンピオンをとった車名。わが社も富士スピードウェイの順位ツリーに看板を出しています。今後もモータースポーツを応援していきたいです！

東京都・（株）アクティオ
木村和夫さん

青函トンネル開通の技術に感謝

私の住む町は、新幹線との関わりが多くあります。会社も新函館北斗駅に近く、新幹線を眺められます。見られた日は、わくわくするものです。青函トンネルが開通して長い月日が経ちましたが、昔の方々の苦労や技術がずっと活かされていると、感謝します。

こちらは雪が多く、コベルコの機械をよく見かけます。友人たちと自宅前の除雪に良い機械が欲しいねという話をよくします。女性や老人でも使える除雪機が開発されたらと思います。

北海道・七飯アサノ生コンクリート（株）
西山ヨリ子さん



富山県　匿名希望

現場命の建設業界。今日も安全に！

コロナ禍で、リモートワークが7割と聞きますが、私たち建設業界は現場が命です。皆様が安心して暮らすことのできる家や施設の建設のために、日々仕事をしています。

「三密をさければ　心にゆとりでき　安全作業で　今日もゼロ災」

私が考えたスローガンです。今日も安全に！

福島県　匿名希望

青函トンネルの作業員に共感

青函トンネルの記事で、水のことが書かれていました。昨年、私の住む熊本県人吉市は水害で、多くの家屋や会社などが被災しました。解体工事でコベルコ建機の重機を多く目にします。

水は生活に欠かせないものですが、一瞬ですべてを流してしまうのもまた、水。時に恐ろしく感じます。トンネル工事中に起こる水の音「山鳴り」。作業員の方の気持ちがわかります。

熊本県　匿名希望



群馬県・ランドスタイル（株）
松村秀治さん



宮城県・（有）管栄設備
菅野桜夢さん

楽しいイラスト、すてきなお写真大募集！

読者の広場は皆様からの投稿で構成しています。本誌への感想や、身近で起こったできごとなど、お気軽にお寄せください。また、同時にイラストやお写真も募集しています。採用された方には、すてきなプレゼントを進呈いたします。ぜひご投稿ください。メールでのご投稿もお待ちしております。

※メールには、会社名、所在地、電話番号、氏名、匿名希望の方はその旨を必ずご記入ください
※ご投稿いただいた内容は、本誌以外のHP、Twitterなどで掲載させていただく場合があります。予めご了承ください

✉ Kobelconews-shm@kobelconet.com

特設サイト「KOBELCO KENKI TOWN」

ケンキとひとが仲良く暮らす街を描いた「KOBELCO KENKI TOWN」では、2020年8月からWeb動画広告も配信しています。みんなの暮らしを陰ながら支えるケンキたちが活躍する世界を、ぜひ覗いてみてください！



PRESENT

［プレゼント］

クロスワードパズル正解者の中から抽選で次の賞品を進呈いたします。ふるってご応募ください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます



10名様

A賞

KOBELCOオリジナルメッシュキャップ

コベルコ建機の新グッズが登場！ つばにコベルコカラーをあしらったデザインが特徴です。メッシュタイプなので、長時間かぶっても蒸れずに過ごせます。熱い夏を快適に過ごすアイテムです



3名様

B賞

アルコールディスペンサー「テッテ」1Lタイプ

手をかざすと消毒液が出るアルコールディスペンサー。１リットルと容量たっぷりで、市販の消毒液（液体タイプ）を入れることができるため、専用のものを用意する必要もありません



5名様

C賞

和ろうそく HAZE BOTANICAL color 全8種 5本箱入り

川越市を拠点に、日本古来の技法「手掛け製法」で和ろうそくの創作を行っているHAZE。現代にもマッチしたオシャレなデザインが人気です。和ろうそくの火の揺らぎを見ながら癒されてみてはいかがでしょうか

CROSSWORD PUZZLE

［クロスワードパズル］

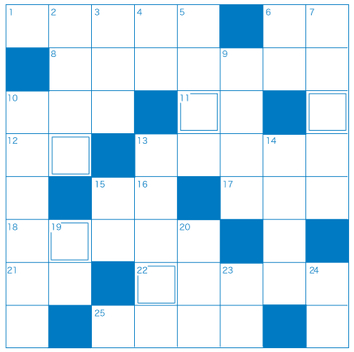
タテ・ヨコのカギをヒントにマス目を埋めてください。
二重マス目の文字を並べ替えてできた言葉を
専用はがきの解答欄（または、はがき）にご記入ください。

- ご応募の締め切り：**2021年6月26日**（消印有効）
- あて先：〒141-8626　東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライトコア5F
  コベルコ建機（株）コベルコニュース編集室

Web応募フォームを開設しました。今後はPC・スマホからもお気軽にご応募いただけます！

https://www.kobelco-kenki.co.jp/inquiry/knews/index.php

※ご記入いただいた個人情報は、当選者へのプレゼントの発送と読者の投稿ページへの掲載以外の目的では使用いたしません



ヒント：今号の「歴史的建造物誕生の秘密を探る！」にも登場

答え：

タテのカギ

2　童話の主人公、金太郎のトレードマーク
3　人の生前の行いを裁くといわれる神
4　タイヤには、これがあるから滑りにくい
5　悪党、悪人の住処、隠れ家
6　ミツバチの巣が原料。ワックスとも。
7　欧文で、姓名や固有名詞の最初の文字
9　この場所に現存御殿がある城は全国で2例のみ
10　スミソニアン、大英、故宮、鉄道
13　すべき判断や処理をやらずに延ばす
14「理屈っぽい」は「論理的」、「うるさい」は「元気」
15　切羽詰まって、「〇〇にもすがる」
19　魚介類の保存技術。寿司屋の隠語でマグロの赤身の寿司のこと
20　元本に対して設定された金利のことで、％で表す
23　クロスワードパズルは、縦横のこれをヒントに埋めていく
24　大気中の水蒸気が凍って降りてきたもの

ヨコのカギ

1　自分で自分を褒めること
6　腎臓は、血液を〇〇して尿として排出する
8　小説『西遊記』に登場。三人のお供を連れ天竺を目指す
10　主に女性が着る卒業式の衣装の定番
11　送り仮名が必要な〇〇読み
12「〇〇ご飯」「〇〇色」「〇〇きんとん」
13　江戸で流行したスイーツの原材料。埼玉県川越市周辺が産地
15　守りが弱く、相手につけこまれやすい人は何が甘い？
17　〇〇〇品・模倣品にはご注意ください
18　幾重にも曲がりくねって続く坂道
21　熱いつゆだけのシンプルな蕎麦・うどん
22「使い捨て」↔「〇〇〇〇使う」
25　目的地までの直行便がない時は途中の空港で……

Vol.251 クロスワードパズル 正解発表

ジ	サ	■	ジ	ユ	ウ	ニ	シ
ヤ	オ	チ	ヨ	ウ	■	ガ	ン
ガ	■	キ	■	キ	ヤ	ツ	カ
イ	デ	ン	シ	■	マ	■	ン
モ	ジ	■	ツ	ケ	ア	ワ	セ
■	タ	ス	キ	■	ラ	イ	ン
ア	ル	ミ	■	ザ	シ	キ	■
ク	■	レ	ー	ル	■	キ	ゴ

正解は「ツガルカイキョウ」でした。
多数のご応募ありがとうございました。

Wチャンスのお知らせ

Vol.251～Vol.252にお寄せいただいたすべてのはがきを再抽選、50名様に記念品をプレゼントいたします。パズルへのご応募のほか、ご投稿、ご意見など、どうぞお気軽にお寄せください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

編集後記

いつもコベルコ建設機械ニュースをご愛読いただきありがとうございます。SK135SR-7、TK550GSBと新機種尽くしの内容でしたが、お楽しみいただけましたでしょうか？ 今回の取材はリモートで実施したのですが、撮影のためにマスクを外したメンバーたちの姿が新鮮に感じられるほど、普段のマスク姿が当たり前になっていることに気づきました。

当社でも、このコロナ禍を一丸となって乗り切ろう、と想いを込めたオリジナルマスクを着用し、日々の業務に取り組んでおります！ 窮屈な日常が続きますが、本誌が少しでも皆様の楽しみとなれば幸いです。（M.I）

コベルコ建設機械ニュース 春季号　2021年5月 Vol.252
発行：コベルコニュース編集室
企画・編集：日経BP ／日経BPコンサルティング／リミックス